

学術集会関連行事

1. てんかンをめぐるアート展（一般公開）

日時：10 月 7 日（金）・8 日（土）9：30～18：00、9 日（日）9：30～15：00

場所：6F 展示ギャラリー

本学術集会のテーマのひとつは「アート」です。てんかんのある人やてんかんに関わる人の作品、てんかんに関連する作品を一般公募したところ、多くの作品が届きました。これらの中から入選した作品を展示し、さらに図録集も作成しました。サイエンスの合間に、素晴らしいアート作品には是非ふれてみてください。7 日に表彰式、ギャラリートークを行います。

2. てんかんと映画（一般公開）

日時：10 月 7 日（金）・8 日（土）9：30～18：00、9 日（日）9：30～15：00

場所：2F 映像ホール

映画でてんかンをテーマとした作品、もしくは映画中にてんかん発作が扱われる作品を集めてみました。狭い会場ですが、学術集会会期中にこれらの映画を上映いたします。空いた時間にお楽しみください。

10 月 7 日（金） 「卵」、「静かな生活」、「クレオパトラ」、「レインマン」

10 月 8 日（土） 「誤診」、「コントロール」、「ミルク」、「英国王室～もう一つの秘密」

10 月 9 日（日） 「恋のためらい」、「蜂蜜」、「奈緒ちゃん」

3. てんかんミュージアム

日時：10 月 7 日（金）・8 日（土）8：00～19：00、9 日（日）8：00～12：00

場所：1F 大ホール・海

本学術集会は記念すべき第 50 回です。今後のてんかん学の方向性を見さだめるために、これまでの歴史を振り返るミュージアムを企画しました。薬剤の歴史、外科治療の歴史、検査の歴史、遺伝学の歴史、人物史、制度の歴史など、さまざまな角度からてんかんの歴史を展示します。休憩会場に併設しておりますので、休憩時間にご覧ください。

4. 静岡てんかん・神経医療センター見学会

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター（てんかんセンター）の見学を 10 月 7 日（金）13：30 開始で企画しています。ご希望の方は大会受付（総合案内）にて、案内図・見学経路をお受け取りの上、各自で病院玄関（待合）までお越しください。会場からてんかんセンターまではタクシーで片道 20 分ほどです。なお、見学の際には必ずてんかん学会学術集会のネームカードをご携帯ください。案内図に沿って移動していただきますと、各部門で担当者より説明させていただきます。見学の所要時間は 1 時間ほどの予定です。

5. 市民公開講座（一般公開、事前申込み不要）

第 1 部 てんかんをよりよく理解するために

日時：10 月 9 日（日）13：00～14：50

場所：C 会場（6F 交流ホール）

第 2 部 動物のてんかん

日時：10 月 9 日（日）15：00～16：50

場所：C 会場（6F 交流ホール）

6. てんかん教育入門コース第 1 部～第 4 部

日時：10 月 9 日（日）8：45～16：25

場所：〈午前〉C 会場（6F 交流ホール）

〈午後〉B 会場（11F 会議ホール・風）

会員だけでなく、非会員の医療関係者にも無料で開放します。

詳細は後述の
プログラムを
ご参照ください。

7. 迷走神経刺激療法技術講習会（事前申込み制）

日時：10 月 9 日（日）16：30～19：00

会場：E 会場（9F 会議室 910）

第 1 部 16：30～18：00

迷走神経刺激療法概要/適応基準/フォローアップと刺激調整

講師：奥村 彰久 愛知医科大学小児科

第 2 部 18：00～19：00

植え込み手技/実技 他

講師：山本 貴道 聖隷浜松病院

8. ILAE Neuropsychiatry Commission Meeting

Depression in patients with epilepsy: how could neurologists, psychiatrists and neurosurgeons co-work and how much do Asian colleagues acknowledge it?

Date: October 9-10th, 2016

Venue: Aichi Medical University, Aichi, Japan

This event will be held in Aichi, October 9-10, 2016. This meeting offers Japanese physicians and surgeons treating patients with seizures a unique opportunity to meet Japanese and international experts on depression in patients with epilepsy. It aims to disseminate recent insights into the epidemiology, pathogenesis, impact, diagnosis, and best treatment of this common co-morbid condition in patients with epilepsy and bridge gaps between psychiatrists and epileptologists without psychiatric training. Every medical staffs and students who are interested in this topic, including participant of the Annual Meeting of the Japanese Epilepsy Society who is interested in this topic is welcome to come to the symposium without charge.

October 9th Sunday

14：00～14：05 Opening remarks. Kousuke Kanemoto (Japan)

- 14 : 05~14 : 10 Welcome speech by guest of honor. Yoza Miyake (Japan, President of Aichi Medical University)
- 14 : 10~14 : 35 Epidemiology of comorbid depression in patients with epilepsy (including bidirectional relationship between epilepsy and depression). Andres Miguel Kanner (U.S.A)
- 14 : 35~15 : 00 Depression in epilepsy: why should neurologists care? Alice Yu (Taiwan)
- 15 : 00~15 : 25 Neurobiological aspects of mood disorders: do they explain the high comorbidity of depression and epilepsy? Masumi Ito (Japan)

Coffee break 15 : 25~15 : 35

- 15 : 35~16 : 00 Can psychiatric adverse events of AEDs be anticipated when a past and/or family history of mood disorders are identified at the time of the initial evaluation of the seizure disorder? Kousuke Kanemoto (Japan)
- 16 : 00~16 : 25 What is the impact of depression on seizure, psychosocial issues and behavioral problems? Sung-Pa Park (South Korea)
- 16 : 25~16 : 50 Can neurologists identify patients with depressive and anxiety disorders in their outpatient clinic? Aileen MacGonigal (France)
- 16 : 50~17 : 15 When should patients be referred to psychiatrists? Riki Matsumoto (Japan)
- 17 : 15~17 : 40 Do antidepressant drugs worsen or improve epileptic seizures? Pro and Con Debate. Aileen MacGonogal (France) and Andres Miguel Kanner (USA)
- 17 : 40~18 : 05 Depression in patients with epilepsy in Japan. Go Taniguchi (Japan)

October 10th Monday

- 9 : 00~ 9 : 20 Depression before and after epilepsy surgery. Takuji Nishida (Japan)
- 9 : 20~ 9 : 40 Depression in patients with epilepsy in Korea. Oh-Young Kwon (South Korea)
- 9 : 40~10 : 00 Depression in patients with epilepsy in China. Zhou Dong (China)
- 10 : 00~10 : 20 Depression in patients with epilepsy in Thailand. Yotin Chinvarun (Thailand)
- 10 : 20~10 : 40 Depression in patients with epilepsy in Taiwan. Alice Yu (Taiwan)
- 10 : 40~11 : 10 Overall discussion. Sung-Pa Park (South Korea)
- 11 : 10~11 : 20 Closing remarks. Andres Miguel Kanner (USA)

Symposium Office

Department of Neuropsychiatry Aichi Medical University Tel : 0561-62-3311

9. 共催セミナー・シンポジウム

プレコングレスシンポジウム C 会場 (6F 交流ホール) 前日/10 月 6 日 (木) 17:30~19:30

国内創製ペランパネルと抗てんかん薬開発の未来

第 1 部「実臨床におけるペランパネルのポジショニング」

座長：兼本 浩祐 (愛知医科大学)

PCS-1 ペランパネル治験の経験

高橋 幸利

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

PCS-2 Perampanel real world clinical experience

Gregory L. Krauss

Johns Hopkins University School of Medicine

第 2 部「これからの抗てんかん薬開発に向けて」

座長：川合 謙介 (自治医科大学)

PCS-3 企業における抗てんかん薬開発

花田 敬久

エーザイ株式会社

PCS-4 抗てんかん薬開発の将来展望

兼子 直

湊病院

共催：エーザイ株式会社

ランチオンセミナー 1 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 12:00~13:00

てんかんと神経疾患—基礎と臨床—

座長：岡田 元宏 (三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座精神神経科学分野)

LS1-1 抗てんかん薬の作用点としてのアストロサイト

浅沼 幹人

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経機構学分野

LS1-2 神経変性に伴うてんかん

小坂 仁

自治医科大学小児科学

共催：大日本住友製薬株式会社

ランチョンセミナー 2 C 会場 (6F 交流ホール) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 12:00~13:00

座長：千葉 茂 (旭川医科大学医学部精神医学講座)

LS2 抗てんかん薬剤選択のジレンマ～専門医と一般医の視点～

中里 信和

東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー 3 D 会場 (10F 1001) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 12:00~13:00

座長：加藤 天美 (近畿大学医学部脳神経外科)

LS3 外科医が考えるてんかん外科治療の限界

田村 健太郎

奈良県立医科大学脳神経外科

共催：協和発酵キリン株式会社

ランチョンセミナー 4 E 会場 (9F 910) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 12:00~13:00

座長：森岡 隆人 (福岡市立こども病院)

LS4 本邦における VNS の使用成績調査の最終結果について

川合 謙介

自治医科大学

共催：日本光電工業株式会社

ランチョンセミナー 5 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 12:00~13:00

座長：松浦 雅人 (田崎病院)

LS5 Juvenile Myoclonic Epilepsy: present understanding of its pathophysiology and prognosis

Peter Wolf

Danish Epilepsy Centre Filadelfia, Dianalund, Denmark

共催：大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社

ランチョンセミナー 6 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 12:00~13:00

座長：加藤 天美 (近畿大学医学部脳神経外科)

LS6 てんかん治療難民をなくす～広島からのメッセージ 新たな展開と試み～

飯田 幸治

広島大学病院てんかんセンター/脳神経外科

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 7 D 会場 (10F 1001) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 12:00~13:00

mTOR Pathway と全身性疾患「結節性硬化症」の診療

座長：白石 秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)

LS7-1 小児期の結節性硬化症診療

加藤 竹雄

兵庫県立尼崎総合医療センター小児科

LS7-2 結節性硬化症に対するチーム医療の現状と将来像

菅野 秀宣

順天堂てんかんセンター/順天堂大学脳神経外科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 8 E 会場 (9F 910) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 12:00~13:00

Dravet 症候群の診断と治療

座長：大塚 頌子 (社会福祉法人旭川荘旭川荘療育・医療センター旭川児童院)

LS8-1 診断の問題点と治療の変遷

今井 克美

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

LS8-2 スチリペントールの薬物動態と注意すべき相互作用

山本 吉章

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー 9 D 会場 (10F 1001) 第 3 日/10 月 9 日 (日) 12:00~13:00

座長: 赤松 直樹 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部/福岡山王病院脳神経機能センター)

LS9 職域におけるてんかん診療を考える—臨床医・産業医の立場から—

山野 光彦

東海大学医学部内科学系神経内科学

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

イブニングセミナー 1 B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 18:10~19:00

座長: 重松 秀夫 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

EV1 てんかんに潜在するゴーシェ病

中村 公俊

熊本大学大学院生命科学研究部小児科学分野

共催: シヤイアー・ジャパン株式会社

イブニングセミナー 2 D 会場 (10F 1001) 第 1 日/10 月 7 日 (金) 18:10~19:00

座長: 前原 健寿 (東京医科歯科大学脳神経機能外科)

EV2 臨床てんかん学におけるワイドバンド EEG の概要と有用性

池田 昭夫

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

共催: 日本光電工業株式会社

イブニングセミナー 3 C 会場 (6F 交流ホール) 第 2 日/10 月 8 日 (土) 18:10~19:00

座長: 前原 健寿 (東京医科歯科大学)

EV3 The significance of GTC treatment and Perampanel

Gregory L. Krauss

Johns Hopkins University School of Medicine

共催: エーザイ株式会社

モーニングセミナー B 会場 (11F 会議ホール・風) 第 3 日/10 月 9 日 (日) 7:55~8:45

座長：大澤 眞木子 (東京女子医科大学)

MS West 症候群の治療におけるピガバトリンの位置付け

浜野 晋一郎

埼玉県立小児医療センター

共催：アルフレッサ ファーマ株式会社